



令和6年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

令和7年2月12日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社
コード番号 2533 URL <https://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 田中 直子

TEL 03-6757-4584

定時株主総会開催予定日 令和7年3月24日 配当支払開始予定日

令和7年3月25日

有価証券報告書提出予定日 令和7年3月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年12月期の連結業績(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年12月期	84,104	1.0	3,448	3.8	3,629	2.0	2,729	19.6
5年12月期	84,947	4.7	3,585		3,702		3,393	

(注) 包括利益 6年12月期 3,187百万円 (18.5%) 5年12月期 3,910百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
6年12月期	47.39		12.1	6.5	4.1
5年12月期	58.30		17.3	6.7	4.2

(参考) 持分法投資損益 6年12月期 151百万円 5年12月期 72百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年12月期	55,739	24,478	42.4	414.62
5年12月期	55,431	22,227	38.6	367.30

(参考) 自己資本 6年12月期 23,637百万円 5年12月期 21,380百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
6年12月期	4,280	1,304	2,917	882
5年12月期	4,606	11	4,688	824

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
5年12月期				8.00	8.00	471	13.7	2.4
6年12月期				10.00	10.00	577	21.1	2.6
7年12月期(予想)				10.00	10.00		20.7	

6年12月期期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭(創立100周年記念配当)

3. 令和7年12月期の連結業績予想(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	1.1	3,600	4.4	3,650	0.6	2,750	0.8	48.24

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	6年12月期	65,586,196 株	5年12月期	65,586,196 株
期末自己株式数	6年12月期	8,576,331 株	5年12月期	7,375,760 株
期中平均株式数	6年12月期	57,583,968 株	5年12月期	58,210,591 株

(参考) 個別業績の概要

令和6年12月期の個別業績 (令和6年1月1日 ~ 令和6年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年12月期	3,026	10.4	1,791	12.1	1,788	15.8	1,533	7.4
5年12月期	2,741	19.4	1,598	59.2	1,543	61.4	1,427	86.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
6年12月期	26.64	
5年12月期	24.53	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年12月期	37,960	19,184	50.5	336.51
5年12月期	37,879	18,296	48.3	314.32

(参考) 自己資本 6年12月期 19,184百万円 5年12月期 18,296百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	17
役員の異動	17

○決算参考資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の回復や雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、不安定な国際情勢を背景とする原材料・エネルギー価格の高騰や急激な為替相場の変動、物価上昇の長期化により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、令和6年10月に創立100周年を迎えた当社グループは、グループの健全かつ持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るべく、11月に長期ビジョン「NEXT100」及び「中期経営計画2028」を策定いたしました。長期ビジョン「NEXT100」では、10年後の令和16年度に「めざす姿」である、“堅実な経営を貫き然るべき利益を安定的に創出しつつ、社会が抱える課題の解決に貢献する企業へ”の実現に向けて、3つの重要課題「中核事業の競争力・収益力の強化」「新領域への挑戦」「ESG経営の推進」に取り組むことといたしました。併せて、「中期経営計画2028」において、当期から令和10年度までの5年間に於いてなすべき4本の柱として、「総合焼酎メーカーとしてのプレゼンス強化」「酒類輸出の販路拡大とスケールアップ」「販売用アルコールの安定収益確保」「酵素のラインアップ拡充・発酵受託ビジネスの拡大」を掲げ、これらを軸とした諸施策に取り組んでまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、84,104百万円（前期比1.0%減）となりました。利益面では、営業利益は3,448百万円（前期比3.8%減）、経常利益は3,629百万円（前期比2.0%減）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は2,729百万円（前期比19.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当連結会計年度 (自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日) (百万円)	前期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	36,274	101.0
		チューハイ	16,933	100.8
		清酒	3,638	98.1
		合成清酒	1,897	97.7
		販売用アルコール	13,519	95.1
		みりん	400	93.0
			72,664	99.5
	洋酒部門	5,334	103.0	
	その他の部門	717	116.7	
		78,715	99.9	
酵素医薬品		4,155	119.1	
不動産		1,144	93.0	
その他		88	101.6	
	合計	84,104	99.0	

(注) 令和5年5月15日付で、加工用澱粉事業を展開していた株式会社サニーメイズの株式を一部譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。これに伴い、当連結会計年度より、報告セグメントから「加工用澱粉」を除外しております

【酒類事業】

酒類事業につきましては、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少に加え、物価上昇による節約志向の高まりから、競争が益々激化しております。このような環境の下、売上高は78,715百万円(前期比0.1%減)となりました。また、利益面につきましては、2,296百万円の営業利益(前期比12.8%減)となりました。

和酒部門のうち焼酎につきましては、PB商品や甲類焼酎の「ビッグマン」シリーズが減少したものの、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」シリーズや本格焼酎の「博多の華」シリーズが好調に推移したため、売上高は増加いたしました。

チューハイなどのRTD分野につきましては、日本各地の厳選素材を使用したチューハイ「NIPPON PREMIUM」シリーズや「直球勝負」シリーズなどのNB商品やパッカー事業が好調に推移したこと、下期にPB商品が復調したことにより、売上高は増加いたしました。「NIPPON PREMIUM」シリーズにおきましては、「山形県産ラ・フランス」を数量限定で発売するなど、ラインアップ強化を図っております。

清酒につきましては、「福徳長 米だけのす〜と飲めてやさしいお酒 純米吟醸酒」が好調に推移したものの、PB商品などの減少により、売上高は減少いたしました。

販売用アルコールにつきましては、工業用アルコール、酒類原料用アルコールともに減少したため、売上高は減少いたしました。

洋酒部門につきましては、炭酸水で割るだけで手軽に居酒屋の味わいを家で楽しむことができるチューハイの素などが好調に推移したほか、ハイボールに最適なウイスキー「香薫(こうくん)」、輸入ワインなどが伸張したことにより、売上高は増加いたしました。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業につきましては、酵素部門における海外での販売が好調に推移したことや、国内の発酵受託が増加したため、売上高は4,155百万円(前期比19.1%増)、営業利益は534百万円(前期比62.9%増)となりました。

【不動産事業】

不動産事業につきましては、前期に販売用不動産の売却があったことなどにより、売上高は1,144百万円(前期比7.0%減)、営業利益は604百万円(前期比2.3%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の総資産につきましては、55,739百万円となり、有形固定資産が減少したものの、投資有価証券が増加したため、前連結会計年度末と比較し307百万円の増加となりました。

負債につきましては、31,260百万円となり、設備関係支払手形が増加したものの、短期借入金が減少したため、前連結会計年度末と比較して1,943百万円の減少となりました。

純資産につきましては、24,478百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,251百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は882百万円となり、前連結会計年度末と比較して58百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける資金の増加額は、4,280百万円(前期比326百万円減)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益3,592百万円、減価償却費1,916百万円などがありましたものの、法人税等の支払額895百万円、未払消費税等の減少額256百万円などを計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出1,061百万円などがありましたので、1,304百万円(前期比1,315百万円減)の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、短期借入金の減少額1,350百万円、長期借入金の返済による支出600百万円などがありましたので、2,917百万円(前期比1,770百万円増)の資金減少となりました。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	令和4年12月期	令和5年12月期	令和6年12月期
自己資本比率(%)	32.0	38.6	42.4
時価ベースの自己資本比率(%)	26.9	37.2	40.2
キャッシュ・フロー対有利子負債率(年)	△13.9	1.7	1.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	△11.7	52.4	45.2

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

酒類の国内市場におきましては、少子高齢化や人口減少、消費者の低価格志向、ライフスタイルの変化、嗜好の多様化などにより、全体として縮小傾向にあり、企業間での販売競争が激化しております。一方で、酒類の輸出につきましては、令和6年度は世界的な物価高や一部の国・地域における消費減退などの影響により全体的には減少傾向にありますが、品目別では清酒やビール、RTDを含むリキュールが堅調に推移しており、国別ではアメリカや韓国、台湾向けの輸出が好調に推移しております。

また、国内外の乳製品用酵素市場におきましては、世界的な健康志向の高まりの影響を受け、市場の更なる成長が見込まれております。

当社グループは、これらの変化を的確に捉え、構造改革を継続的に進めながら競争力・収益力を強化し、健全かつ持続的な成長を実現するため、令和16年にめざす姿を示す長期ビジョン「NEXT100」と、その実現に向けた令和6年からの5ヶ年の行動計画「中期経営計画2028」を定めております。

中期経営計画の2年目となる令和7年12月期は、「中期経営計画2028」で掲げた数値目標の達成に向け、以下の課題に取り組んでまいります。

1. 各重点事業の注力施策

(1) 総合焼酎メーカーとしてのプレゼンス強化

焼酎、チューハイ及びチューハイの素の収益最大化に向け、多様な消費者の嗜好に対応した新たな高付加価値商品の提案を進めるとともに、既存商品のリニューアルや集約化、仕様変更などによる収益性の改善にも積極的に取り組んでまいります。また、販売経費や収益構造の見直しも同時に進めてまいります。

(2) 酒類輸出の販路拡大とスケールアップ

中期経営計画で掲げた令和10年度売上高23億円の目標達成に向け、各地域に応じた販売施策を実施してまいります。併せて、インバウンド向け及び輸出向けの商品開発を進めてまいります。

(3) 販売用アルコールの安定的収益確保

販売用アルコールの安定的収益確保に向け、メリハリをつけた販売を進め、販売数量の維持拡大と獲得利益最適化を図ってまいります。

(4) 酵素のラインアップ拡充と発酵受託ビジネスの拡大

基幹商品である中性ラクターゼにつきましては、海外の主要取引先との連携を密にし、販売計画と生産計画の最適化を図り、販売数量の維持拡大を進めるとともに、収量及び収率の向上による収益性改善に取り組んでまいります。また、将来の収益の柱となる遺伝子組換え品の早期上市に向け、研究開発を強化してまいります。

発酵受託ビジネスにつきましては、本格的に製造が開始される乳酸菌を安定軌道に乗せ、今後の事業拡大に繋げてまいります。また、予防措置・予見に基づいた不適合品発生の撲滅並びに品質及び収量の安定化・向上に努め、実質利益の増大を図ってまいります。

2. 競争力・収益力の強化

(1) 品質管理の強化

衛生管理の再点検及び設備投資を進めるとともに、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の定着化に取り組んでまいります。

また、3H（初めて・変更・久しぶり）4M（人・設備・材料・方法）の変化点管理による危険予知の定着化に取り組み、工程内不適合撲滅に努めてまいります。

(2) 適正価格の維持

然るべき利益を安定的に確保するため、適切なタイミングで価格改定を行ってまいります。

(3) 多様化する嗜好への対応

多様化する消費者の嗜好に対応するため、これまで培ってきたグループ独自の技術・ノウハウを最大限に活かして新たな高付加価値商品を開発し、主力商品ブランド（ビッグマン、そふと新光、博多の華、鍛高譚、すごシリーズ、GODO-YNL）に続く、将来における収益の柱として育成してまいります。

(4) コスト低減の徹底

営業部門におきましては、販売経費の費用対効果を検証し、最適化を図ってまいります。また、公正な取引基準に準拠した社内ルールの遵守を徹底してまいります。

生産部門におきましては、生産工程におけるあらゆるコストの低減に徹底的に取り組んでまいります。

物流部門におきましては、輸配送ロットの引上げ等の物流効率化への対応を進め、物流コスト増加の抑制に努めてまいります。

3. ESG経営の推進

(1) 環境問題への対応

環境問題への対応は地球規模の課題と認識しております。引き続き低炭素社会の実現及び循環型社会の形成に向けた取組みを進めてまいります。

令和7年12月期は、酵素医薬品工場への廃熱回収システムの導入、フロン排出抑制法対応等に取り組む予定であります。

(2) 人的資本の充実

グループの持続的成長及び企業価値向上のためには、その原動力となる従業員の価値を高め、その価値を有効的に活用できるシステムを整備することが不可欠であると考えております。従業員一人ひとりが働きがいを感じ、主体的に業務に取り組み、高いパフォーマンスを発揮することができ、多様な人材が活躍できる環境づくりに積極的に取り組んでまいります。

(3) コーポレートガバナンスの強化

グループの持続的成長及び企業価値向上のため、コーポレートガバナンスの充実とコンプライアンスの徹底を図り、「納得性」「公正性」「透明性」の高い経営を実践してまいります。

以上をふまえ、次期の見通しに関しましては、連結売上高85,000百万円（前期比1.1%増）、連結営業利益3,600百万円（前期比4.4%増）、連結経常利益3,650百万円（前期比0.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,750百万円（前期比0.8%増）を予定しております。

	令和6年12月期	令和7年12月期 予想	増減額	増減率
売上高	百万円 84,104	百万円 85,000	百万円 895	1.1%
営業利益	3,448	3,600	151	4.4%
経常利益	3,629	3,650	20	0.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,729	2,750	20	0.8%
売上高経常利益率	4.3%	4.3%		
1株当たりの配当金	10円	10円	—	—
ROE	12.1%	11.1%		

(注) 令和6年12月期の1株当たりの配当金の内訳
普通配当8円 記念配当2円（創立100周年記念配当）

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を最重要政策の一つとして位置づけております。この政策の下、当社の業績、連結決算の状況、中長期的な収益状況、設備投資計画、適正な内部留保額などを総合的に勘案しながら、継続的・安定的な配当を行い、かつ中期的には配当金を漸増させていくことを基本方針としております。

「中期経営計画2028」では、株主還元方針としてD O Eの水準を2.5%程度に引き上げ、さらには配当に加えて自己株式の取得を機動的に実施することで、5年間合計で総還元性向30%以上を目指しています。これらにより、2028年において1株当たりの配当金を12円とすることを目標にしております。

この方針に基づき、当期の配当金につきましては、1株当たり10円（創立100周年記念配当2円含む）とさせていただきますことを予定しております。

また、次期の配当金につきましても1株当たり10円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当連結会計年度 (令和6年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	828	887
受取手形及び売掛金	16,754	16,733
商品及び製品	6,862	6,880
仕掛品	235	273
原材料及び貯蔵品	1,264	1,110
前払費用	101	97
その他	53	204
貸倒引当金	△19	△13
流動資産合計	26,081	26,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,623	29,807
減価償却累計額	△19,794	△20,358
建物及び構築物（純額）	9,828	9,449
機械装置及び運搬具	35,254	35,872
減価償却累計額	△30,328	△30,787
機械装置及び運搬具（純額）	4,926	5,084
工具、器具及び備品	1,620	1,690
減価償却累計額	△1,437	△1,450
工具、器具及び備品（純額）	182	239
土地	9,546	9,546
リース資産	150	163
減価償却累計額	△81	△64
リース資産（純額）	68	98
建設仮勘定	106	39
有形固定資産合計	24,660	24,458
無形固定資産		
のれん	3	1
ソフトウェア	423	350
その他	81	77
無形固定資産合計	508	429
投資その他の資産		
投資有価証券	3,104	3,654
長期前払費用	110	200
繰延税金資産	736	590
その他	234	235
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	4,181	4,675
固定資産合計	29,350	29,563
資産合計	55,431	55,739

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当連結会計年度 (令和6年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,981	4,928
電子記録債務	2,035	1,905
短期借入金	3,200	1,850
リース債務	31	43
未払金	4,693	4,753
未払費用	176	185
未払酒税	8,240	8,249
未払消費税等	1,289	1,032
未払法人税等	681	634
預り金	369	350
賞与引当金	59	66
役員賞与引当金	38	39
株主優待引当金	27	24
設備関係支払手形	125	562
設備関係電子記録債務	86	136
その他	254	133
流動負債合計	26,292	24,897
固定負債		
長期借入金	1,800	1,200
長期預り金	3,164	3,182
リース債務	44	66
繰延税金負債	153	183
役員株式給付引当金	145	169
退職給付に係る負債	1,502	1,499
資産除去債務	42	41
その他	58	19
固定負債合計	6,911	6,363
負債合計	33,204	31,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,636	5,637
利益剰余金	9,973	12,230
自己株式	△1,954	△2,414
株主資本合計	20,601	22,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	958	1,236
繰延ヘッジ損益	△83	104
退職給付に係る調整累計額	△95	△102
その他の包括利益累計額合計	779	1,238
非支配株主持分	846	840
純資産合計	22,227	24,478
負債純資産合計	55,431	55,739

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	84,947	84,104
売上原価	70,964	70,139
売上総利益	13,983	13,964
販売費及び一般管理費	10,397	10,516
営業利益	3,585	3,448
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	43	52
持分法による投資利益	72	151
受取賃貸料	61	60
為替差益	35	30
雑収入	41	50
営業外収益合計	254	345
営業外費用		
支払利息	91	102
操業休止等経費	25	29
売上債権売却損	11	23
雑損失	8	8
営業外費用合計	137	163
経常利益	3,702	3,629
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	14	0
その他	—	1
特別利益合計	15	1
特別損失		
固定資産除売却損	38	35
減損損失	16	—
関係会社株式売却損	46	—
投資有価証券評価損	10	1
その他	1	1
特別損失合計	113	38
税金等調整前当期純利益	3,604	3,592
法人税、住民税及び事業税	770	884
法人税等調整額	△563	△21
法人税等合計	206	863
当期純利益	3,398	2,729
非支配株主に帰属する当期純利益	4	0
親会社株主に帰属する当期純利益	3,393	2,729

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日)
当期純利益	3,398	2,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	505	277
繰延ヘッジ損益	21	179
退職給付に係る調整額	△10	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	8
その他の包括利益合計	512	458
包括利益	3,910	3,187
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,900	3,187
非支配株主に係る包括利益	9	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,946	5,602	6,873	△1,927	17,494
当期変動額					
剰余金の配当			△293		△293
親会社株主に帰属する当期純利益			3,393		3,393
自己株式の取得				△88	△88
自己株式の処分		27		60	87
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		7			7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	34	3,099	△27	3,106
当期末残高	6,946	5,636	9,973	△1,954	20,601

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	454	△97	△84	272	1,837	19,604
当期変動額						
剰余金の配当						△293
親会社株主に帰属する当期純利益						3,393
自己株式の取得						△88
自己株式の処分						87
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	504	13	△10	507	△991	△483
当期変動額合計	504	13	△10	507	△991	2,623
当期末残高	958	△83	△95	779	846	22,227

当連結会計年度(自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,946	5,636	9,973	△1,954	20,601
当期変動額					
剰余金の配当			△471		△471
親会社株主に帰属する当期純利益			2,729		2,729
自己株式の取得				△460	△460
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		0			0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	2,257	△460	1,798
当期末残高	6,946	5,637	12,230	△2,414	22,399

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	958	△83	△95	779	846	22,227
当期変動額						
剰余金の配当						△471
親会社株主に帰属する当期純利益						2,729
自己株式の取得						△460
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	277	187	△7	458	△5	452
当期変動額合計	277	187	△7	458	△5	2,251
当期末残高	1,236	104	△102	1,238	840	24,478

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,604	3,592
減価償却費	1,851	1,916
減損損失	16	—
のれん償却額	2	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13	△13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△6
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	34	23
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	35	1
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	4	△3
受取利息及び受取配当金	△43	△52
支払利息	91	102
持分法による投資損益 (△は益)	△72	△151
固定資産売却益	△0	—
固定資産除売却損	38	35
投資有価証券評価損	10	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△14	0
関係会社株式売却損益 (△は益)	46	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△817	20
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,259	97
仕入債務の増減額 (△は減少)	201	△183
未払消費税等の増減額 (△は減少)	742	△256
未払酒税の増減額 (△は減少)	△207	9
その他	619	16
小計	4,870	5,152
利息及び配当金の受取額	43	118
利息の支払額	△87	△94
法人税等の支払額	△219	△895
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,606	4,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4	△4
定期預金の払戻による収入	4	4
固定資産の取得による支出	△871	△1,061
固定資産の除却による支出	△15	△46
国庫補助金による収入	32	—
地方自治体からの補助金による収入	—	38
投資有価証券の取得による支出	△8	△57
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	119	—
関係会社貸付けによる支出	△150	—
関係会社貸付金の回収による収入	950	—
その他	△45	△177
投資活動によるキャッシュ・フロー	11	△1,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,750	△1,350
長期借入れによる収入	—	—
長期借入金の返済による支出	△600	△600
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△33	△29
自己株式の取得による支出	△87	△462
自己株式の処分による収入	87	—
配当金の支払額	△294	△470
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△7	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,688	△2,917
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△70	58
現金及び現金同等物の期首残高	894	824
現金及び現金同等物の期末残高	824	882

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分及び評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス等を基礎としたセグメントから構成されており、「酒類」、「酵素医薬品」、「不動産」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントの主な製品・サービスは、次のとおりであります。

事業区分	主な製品・サービス
酒類	焼酎、チューハイ、清酒、合成清酒、梅酒、洋酒、加工用洋酒、酒類原料用・工業用アルコール、調味料
酵素医薬品	酵素、診断薬、発酵受託ビジネス
不動産	不動産の売買、不動産の賃貸

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉 (注)4	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	78,799	1,341	3,488	1,230	84,860	87	—	84,947
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	—	—	—	14	—	△14	—
計	78,814	1,341	3,488	1,230	84,874	87	△14	84,947
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,632	△6	328	618	3,572	12	—	3,585
セグメント資産	40,681	—	3,722	6,272	50,676	39	4,715	55,431
その他の項目								
減価償却費	1,211	7	247	284	1,751	0	100	1,851
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,180	2	341	13	1,537	—	42	1,579

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額の内容は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△14百万円は、セグメント間の取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額4,715百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び全社資産4,715百万円が含まれております。全社資産の主なもの、余資運用資金(現金及び預金)、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額100百万円は全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額42百万円は全社資産に係る増加額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 令和5年5月15日付で、加工用澱粉事業を展開していた株式会社サニーメイズの株式を一部譲渡したことに伴い、同社を連結の範囲から除外し、持分法の適用範囲に含めております。このため、当該事業については、令和5年1月1日から令和5年3月31日までににおける売上高及びセグメント損失を記載しております。

当連結会計年度(自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	酒類	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	78,715	4,155	1,144	84,015	88	—	84,104
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	—	—	15	10	△25	—
計	78,731	4,155	1,144	84,031	99	△25	84,104
セグメント利益	2,296	534	604	3,434	13	—	3,448
セグメント資産	40,463	3,795	5,996	50,255	42	5,441	55,739
その他の項目							
減価償却費	1,280	250	281	1,812	0	103	1,916
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,175	282	20	1,478	—	118	1,596

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額の内容は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△25百万円は、セグメント間の取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額5,441百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び全社資産5,442百万円が含まれております。全社資産の主なもの、余資運用資金(現金及び預金)、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額103百万円は全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額118百万円は全社資産に係る増加額であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

令和5年5月15日付で、加工用澱粉事業を展開していた株式会社サニーメイズの株式を一部譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。これに伴い、当連結会計年度より、報告セグメントから「加工用澱粉」を除外しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日)
1株当たり純資産額	367円30銭	414円62銭
1株当たり当期純利益	58円30銭	47円39銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当連結会計年度 (令和6年12月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	22,227	24,478
普通株式に係る純資産額(百万円)	21,380	23,637
連結貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る連結会計年度末の純資産額との差額の主な内訳 (百万円)		
非支配株主持分	846	840
普通株式の発行済株式数(千株)	65,586	65,586
普通株式の自己株式数(千株)	7,375	8,576
1株当たりの純資産の算定に用いられた普通株式の数(千株)	58,210	57,009

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,393	2,729
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,393	2,729
普通株式の期中平均株式数(千株)	58,210	57,583

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

令和7年1月31日に、「役員の異動に関するお知らせ」として開示済みであります。

令和6年12月期 決算参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. 要約連結損益計算書（当四半期）
3. セグメント別売上高
4. 利益増減要因
5. 要約連結貸借対照表
6. 連結業績予想
7. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

令和7年2月12日

1. 要約連結損益計算書

単位: 百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和5年 1月 1日 至 令和5年12月31日	自 令和6年 1月 1日 至 令和6年12月31日		
酒類事業	78,799	78,715	△ 83	99.9
加工用澱粉事業	1,341	-	△ 1,341	-
酵素医薬品事業	3,488	4,155	666	119.1
不動産事業その他	1,318	1,233	△ 84	93.6
売上高	84,947	84,104	△ 843	99.0
売上原価	70,964	70,139	△ 824	98.8
売上総利益	13,983	13,964	△ 18	99.9
販売費及び一般管理費	10,397	10,516	118	101.1
酒類事業	2,632	2,296	△ 336	87.2
加工用澱粉事業	△ 6	-	6	-
酵素医薬品事業	328	534	206	162.9
不動産事業その他	631	617	△ 13	97.8
営業利益	3,585	3,448	△ 137	96.2
営業外収益	254	345	90	135.7
営業外費用	137	163	26	119.2
経常利益	3,702	3,629	△ 73	98.0
特別利益	15	1	△ 13	10.2
特別損失	113	38	△ 75	33.8
税金等調整前当期純利益	3,604	3,592	△ 11	99.7
法人税等合計	206	863	657	418.2
当期純利益	3,398	2,729	△ 668	80.3
非支配株主に帰属する当期純利益	4	0	△ 4	-
親会社株主に帰属する当期純利益	3,393	2,729	△ 664	80.4
1株当たり当期純利益(円)	58.30	47.39	△ 10.91	81.3
設備投資額	1,163	1,539	376	132.3

※令和5年度中間連結会計期間に加工用澱粉事業を行う連結子会社株式会社サニーメイズの株式を一部譲渡し、持分法適用関連会社となったため、加工用澱粉事業については売上高、営業利益ともに令和6年度は発生しておりません。

2. 要約連結損益計算書(当四半期)

単位:百万円

	前連結会計期間	当連結会計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和5年10月 1日 至 令和5年12月31日	自 令和6年10月 1日 至 令和6年12月31日		
酒類事業	21,778	22,385	607	102.8
酵素医薬品事業	752	930	178	123.7
不動産事業その他	308	321	12	104.0
売上高	22,839	23,637	798	103.5
売上原価	18,997	19,399	401	102.1
売上総利益	3,841	4,237	396	110.3
販売費及び一般管理費	2,785	2,853	67	102.4
酒類事業	953	1,149	195	120.5
酵素医薬品事業	△ 31	72	103	-
不動産事業その他	133	162	28	121.7
営業利益	1,055	1,384	328	131.1
営業外収益	75	129	53	171.7
営業外費用	42	46	4	109.5
経常利益	1,088	1,466	378	134.8
特別利益	0	-	△ 0	-
特別損失	38	10	△ 27	27.7
税金等調整前四半期純利益	1,050	1,456	405	138.6
法人税等合計	△ 297	341	639	-
四半期純利益	1,348	1,114	△ 233	82.7
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	△ 1	△ 14	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,334	1,115	△ 218	83.6

3. セグメント別売上高

単位:百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和5年 1月 1日 至 令和5年12月31日	自 令和6年 1月 1日 至 令和6年12月31日		
焼 酎	35,902	36,274	372	101.0
(甲 類 焼 酎)	(12,774)	(12,172)	(△ 601)	(95.3)
(乙 類 焼 酎)	(23,128)	(24,102)	(974)	(104.2)
チ ュ ー ハ イ	16,806	16,933	127	100.8
清 酒	3,709	3,638	△ 71	98.1
合 成 清 酒	1,942	1,897	△ 44	97.7
販 売 用 ア ル コ ー ル	14,216	13,519	△ 697	95.1
み り ん	430	400	△ 29	93.0
洋 酒	5,177	5,334	156	103.0
そ の 他	614	717	102	116.7
酒 類 計	78,799	78,715	△ 83	99.9
加 工 用 澱 粉	1,341	-	△ 1,341	-
酵 素 医 薬 品	3,488	4,155	666	119.1
不 動 産	1,230	1,144	△ 86	93.0
そ の 他	87	88	1	101.6
合 計	84,947	84,104	△ 843	99.0

4. 利益増減要因

単位：百万円

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	△ 336	販売価格の改定などによる総利益増+370 原材料コストの上昇による原価増△190 労務費など製造経費の増△130 人件費など販管費の増△20 製品構成による影響等△366
加工用澱粉事業	6	前連結会計年度△6
酵素医薬品事業	206	輸出酵素及び発酵受託の増
不動産事業その他	△ 13	販売用不動産売却の減
営業利益	△ 137	
営業外収益	90	持分法による投資利益の増
営業外費用	△ 26	
経常利益	△ 73	
特別利益	△ 13	
特別損失	75	
税金等調整前当期純利益	△ 11	
法人税等	△ 657	
当期純利益	△ 668	
非支配株主に帰属する当期純利益	4	
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 664	

5. 要約連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結会計年度 令和5年12月31日	当連結会計年度 令和6年12月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	828	887	58	107.1	
受取手形及び売掛金	16,754	16,733	△ 20	99.9	
棚卸資産	8,362	8,264	△ 97	98.8	
その他	155	302	147	195.0	
貸倒引当金	△ 19	△ 13	6	-	
流動資産合計	26,081	26,175	94	100.4	
建物	8,331	8,029	△ 301	96.4	
土地	9,546	9,546	△ 0	100.0	
その他	6,782	6,882	99	101.5	
有形固定資産計	24,660	24,458	△ 201	99.2	
無形固定資産	508	429	△ 79	84.4	
投資有価証券	3,104	3,654	549	117.7	時価の上昇
長期前払費用	110	200	89	181.0	
繰延税金資産	736	590	△ 146	80.1	
その他	234	235	0	100.1	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	-	-	
投資その他の資産計	4,181	4,675	494	111.8	
固定資産合計	29,350	29,563	213	100.7	
資産合計	55,431	55,739	307	100.6	

単位：百万円

	前連結会計年度 令和5年12月31日	当連結会計年度 令和6年12月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	7,017	6,833	△ 183	97.4	
短期借入金	3,200	1,850	△ 1,350	57.8	
未払金	4,693	4,753	60	101.3	
未払酒税	8,240	8,249	9	100.1	
その他	3,141	3,210	68	102.2	未払消費税等の減
流動負債合計	26,292	24,897	△ 1,395	94.7	
長期借入金	1,800	1,200	△ 600	66.7	
その他	5,111	5,163	51	101.0	
固定負債合計	6,911	6,363	△ 548	92.1	
負債合計	33,204	31,260	△ 1,943	94.1	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,636	5,637	0	100.0	
利益剰余金	9,973	12,230	2,257	122.6	
自己株式	△ 1,954	△ 2,414	△ 460	-	
株主資本合計	20,601	22,399	1,798	108.7	
その他有価証券評価差額金	958	1,236	277	129.0	
繰延ヘッジ損益	△ 83	104	187	-	
退職給付に係る調整累計額	△ 95	△ 102	△ 7	-	
その他の包括利益累計額合計	779	1,238	458	158.8	
非支配株主持分	846	840	△ 5	99.3	
純資産合計	22,227	24,478	2,251	110.1	
負債純資産合計	55,431	55,739	307	100.6	

自己資本比率(%)	38.6	42.4	3.8		
-----------	------	------	-----	--	--

6. 連結業績予想

単位:百万円

	当連結会計年度 自 令和6年 1月 1日 至 令和6年12月31日	翌連結会計年度 自 令和7年 1月 1日 至 令和7年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	78,715	79,329	613	100.8
酵素医薬品事業	4,155	4,262	106	102.6
不動産事業その他	1,233	1,408	175	114.2
売上高	84,104	85,000	895	101.1
売上原価	70,139	70,351	211	100.3
売上総利益	13,964	14,648	683	104.9
販売費及び一般管理費	10,516	11,048	532	105.1
酒類事業	2,296	2,330	33	101.5
酵素医薬品事業	534	560	25	104.8
不動産事業その他	617	710	92	115.0
営業利益	3,448	3,600	151	104.4
営業外損益	181	50	△ 131	27.5
経常利益	3,629	3,650	20	100.6
特別損益	△ 36	△ 50	△ 13	-
税金等調整前当期純利益	3,592	3,600	7	100.2
法人税等合計	863	841	△ 22	97.4
当期純利益	2,729	2,758	29	101.1
非支配株主に帰属する当期純利益	0	8	8	-
親会社株主に帰属する当期純利益	2,729	2,750	20	100.8

7. 予想売上高

単位:百万円

	当連結会計年度	翌連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和 6年 1月 1日 至 令和 6年12月31日	自 令和 7年 1月 1日 至 令和 7年12月31日		
焼 酎	36,274	36,928	654	101.8
(甲 類 焼 酎)	(12,172)	(12,121)	(△ 50)	(99.6)
(乙 類 焼 酎)	(24,102)	(24,807)	(704)	(102.9)
チ ュ ー ハ イ	16,933	16,986	52	100.3
清 酒	3,638	3,631	△ 7	99.8
合 成 清 酒	1,897	1,871	△ 26	98.6
販 売 用 ア ル コ ー ル	13,519	13,087	△ 432	96.8
み り ん	400	390	△ 9	97.5
洋 酒	5,334	5,662	328	106.2
そ の 他	717	770	53	107.5
酒 類 計	78,715	79,329	613	100.8
酵 素 医 薬 品	4,155	4,262	106	102.6
不 動 産	1,144	1,321	176	115.4
そ の 他	88	87	△ 1	98.4
合 計	84,104	85,000	895	101.1